

言語コミュニケーション文化研究科 開設10周年記念講演会

講演1 (14:00-15:00)

「複数の視点から眺めた日英バイリンガル児童の語り」

Multiple Approaches to Understanding English-Japanese Bilingual Children's Narratives

南 雅彦 氏(米国 サンフランシスコ州立大学教授)

講演2 (15:00-16:00)

「語彙化のパターン」から見た日本語 — オノマトペの翻訳からの一考察」

虎谷 紀世子 氏 (カナダ ヨーク大学准教授)

*講演はいずれも日本語で行われます

講演後 講師を交えた言コミ教員によるミニ・セッション

「外から見た日本語・日本文化をめぐって」

日時： 2011年6月11日(土) 14:00~17:00

会場： 関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス G号館 326号教室

事前申し込み不要・入場無料

講師プロフィール

南 雅彦(みなみ まさひこ)氏

大阪府出身。京都大学経済学部・文学部(米文学専攻)卒業。
ハーバード大学教育大学院・人間発達と心理学研究科修士課程修了。
マサチューセッツ州立大学心理学部で教鞭を執る。
現在、サンフランシスコ州立大学人文学部教授。

専門分野：言語発達・発達心理学。

全米日本語・日本文学学会理事、北カリフォルニア外国語教師会会長、北カリフォルニア日本語教師会会長

主要著書

『言語と文化-言語学から読み解くことばのバリエーション』
(2009)『言語学と日本語教育 VI: New Directions in Applied Linguistics of Japanese』II-VI (2001-2010) くらしお出版。(編・著)

虎谷紀世子(とらたに きよこ)氏

1995年オハイオ大学大学院言語学専攻修士課程修了、2002年ニューヨーク州立大学バッファロー校大学院言語学専攻博士課程修了。2000年ウィッテンバーグ大学客員講師・客員助教、2003年ヨーク大学助教を経て、現在同大学言語・文学・言語学学科准教授。同学科学部日本語課、大学院理論・応用言語学専攻プログラム所属。

(研究分野) 統語論 (Role and Reference Grammar)、語彙意味論、認知意味論、第二言語習得 (認知意味論応用)。特に複合動詞・オノマトペが関わる現象に関心があり、近年の研究テーマに日本語自動詞分裂現象、オノマトペの事象性・統語的位置、日本語学習者による移動事象描写の習得がある。

(主論文)：「副詞オノマトペの特殊性について一品詞と事象性に関する一考察」『オノマトペの世界』(篠原和子・宇野良子編)、ひつじ書房 (近刊)

関西学院大学大学院

言語コミュニケーション文化研究科 ・ 言語コミュニケーション文化学会